

まつ かわ ど 松 河 戸 遺 跡

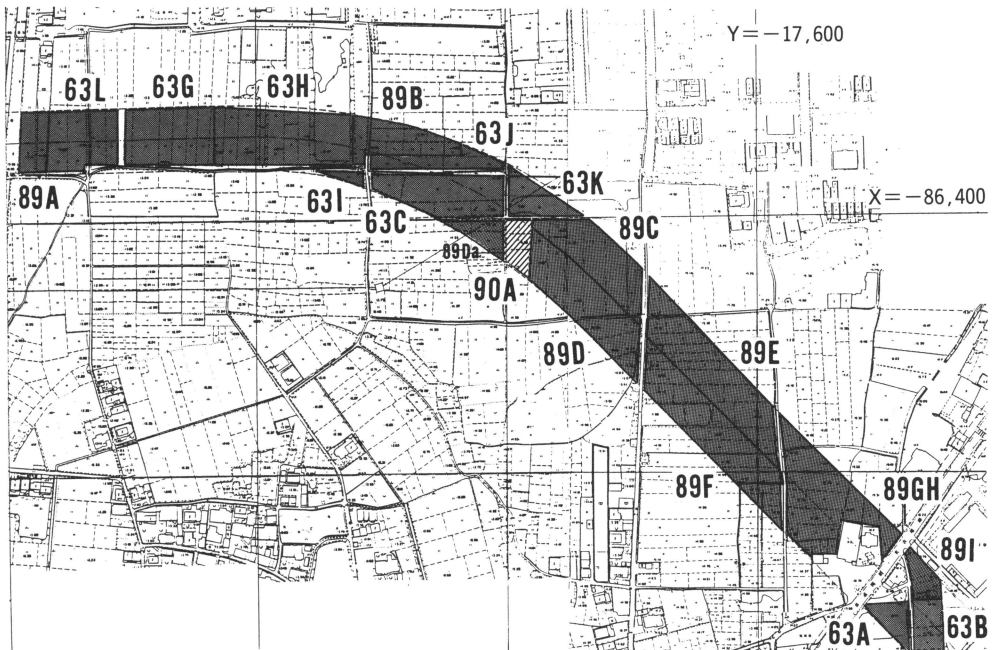
調査の経過

松河戸遺跡は春日井市松河戸町に所在し、庄内川右岸の沖積地に立地する。名古屋環状2号線建設に伴う事前調査として昭和62年度より継続調査が行われ、東西2km、総面積は6万㎡を越える。松河戸町一帯は方格地割による畦畔が遺存する地域とされ、「条里制遺構」検出を調査の主目的とした。その結果、条里制に伴う水田跡が15世紀代まで遡り得ること、微高地（基本的に鳥居松礫層の隆起による）周辺では地割に乱れが生じること、その微高地上には縄文時代前期～後期・縄文時代晩期後半～弥生時代前期・古墳時代・中世の遺構が散在することを確認している。

調査の概要

今年度は1調査区のみ調査を行った。位置は89D a区と89D b区に挟まれた地点である。現水田下に2枚の条里制水田が存在し、これらは正確に方格地割され、逆に現水田に地割の乱れが見られる。なお、畦畔に沿って見られた土坑については今回は確認していない。また、水田下は鳥居松礫層の隆起がなく、厚く粘土層が堆積するのみであった。

(岡本直久)



調査区位置図